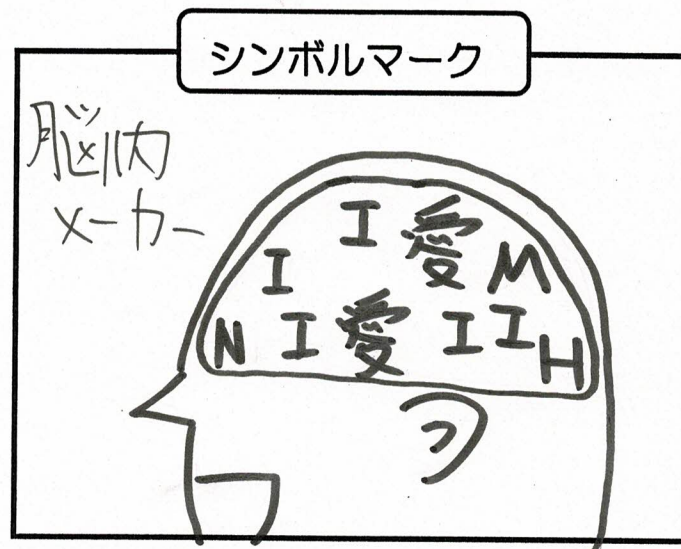


グループの旗

A コース
A-2 グループ

グループのネーミング

アイシカナイ



QCサークルリーダー研修会（中級）
2023年11月15日・16日

チーフアドバイザー

井藤

グループアドバイザー

野崎

メンバーと役割分担

No.	役割	氏名	会社名
1	リーダー	服部	アイシン
2	発表者	岩本	デンソー
3	書記 1	石川	愛三工業
4	2	新美	日本製鉄
5	質由	大浦	三菱デマ
6	タイムキーパー	石山	デンソーウェーブ
7			
8			
9			
10			

※役割は必要に応じて追加・削除しても可。但し一人一役は担当すること

グループの決め事

No.	内容	評価
①	否定をしない	○
②	無視をしない	○
③	全員参加	○
④	時間内に終わらせる	○
⑤	ポジティブ言葉を使う	○

※評価は○・△・×等で発表前に評価してください

QCサークル活動の目的と自職場の実態

主語＋述語で記載

QCサークル活動の目的	目的達成時の姿	QCサークル活動の実態	ギャップ（差）
1. <u>個人の能力を向上させる</u> (人材育成と技能を伝承)	<ul style="list-style-type: none"> ◦ <u>全員参加</u> できる ◦ <u>時間も決めて定期的に活動する</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ◦ <u>サークル全員で活動</u> 出来ていない ◦ <u>忙しくサークル活動の時間がない</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ◦ <u>定期的な時間</u> が取れていない ◦ <u>メンバーの認識</u> がない
2. <u>職場のチームワークを良くする</u> (コミュニケーションの向上と明るい職場づくり)	<ul style="list-style-type: none"> ◦ <u>協調性があり、円滑なコミュニケーション</u> が取れている ◦ <u>自発的にメンバーが活動</u> してくれる ◦ <u>上司と意見交換</u> がある 	<ul style="list-style-type: none"> ◦ <u>コミュニケーション</u> が取れていない ◦ <u>モチベーション</u> が低い ◦ <u>上司の意見に依存</u> している 	<ul style="list-style-type: none"> ◦ <u>メンバーに声掛け</u> 出来ていない ◦ <u>メンバーをほめて</u> いない ◦ <u>上司の意見を全て通</u> ってしまう
3. <u>お客様満足と社会へ貢献する</u> (後工程・周りは全てはお客様の考え方)	<ul style="list-style-type: none"> ◦ <u>後工程のフィードバック</u> がある ◦ <u>不良品を流出</u> させない活動・対策 	<ul style="list-style-type: none"> ◦ <u>後工程の事が分</u> かっていない ◦ <u>不良品を流出</u> させている 	<ul style="list-style-type: none"> ◦ <u>後工程と連絡</u> が取れていない ◦ <u>不良品流出の対策</u> が取れていない

自職場の実態としてコミュニケーションが取れていない

QCサークルリーダーとしての「あるべき姿」の意思統一

1. 上司が期待しているリーダーの姿

- (1) メンバーを成長させる
- (2) 職場の改善能力UP
- (3) リーダーシップがある
- (4) 上位方針を理解している
- (5) 計画性がある
- (6)

2. サークルメンバーが期待しているリーダーの姿

- (1) 知識 技能が高い
- (2) 風通しが良い 雰囲気作り
- (3) 明確な指示を出してくれる
- (4)
- (5)
- (6)



3. 自分たちが思い描くQCサークルリーダーの『あるべき姿』

- ① リーダーシップがあり率先して活動をけん引する
- ② メンバーを育成する
- ③ 自らの能力を向上させる

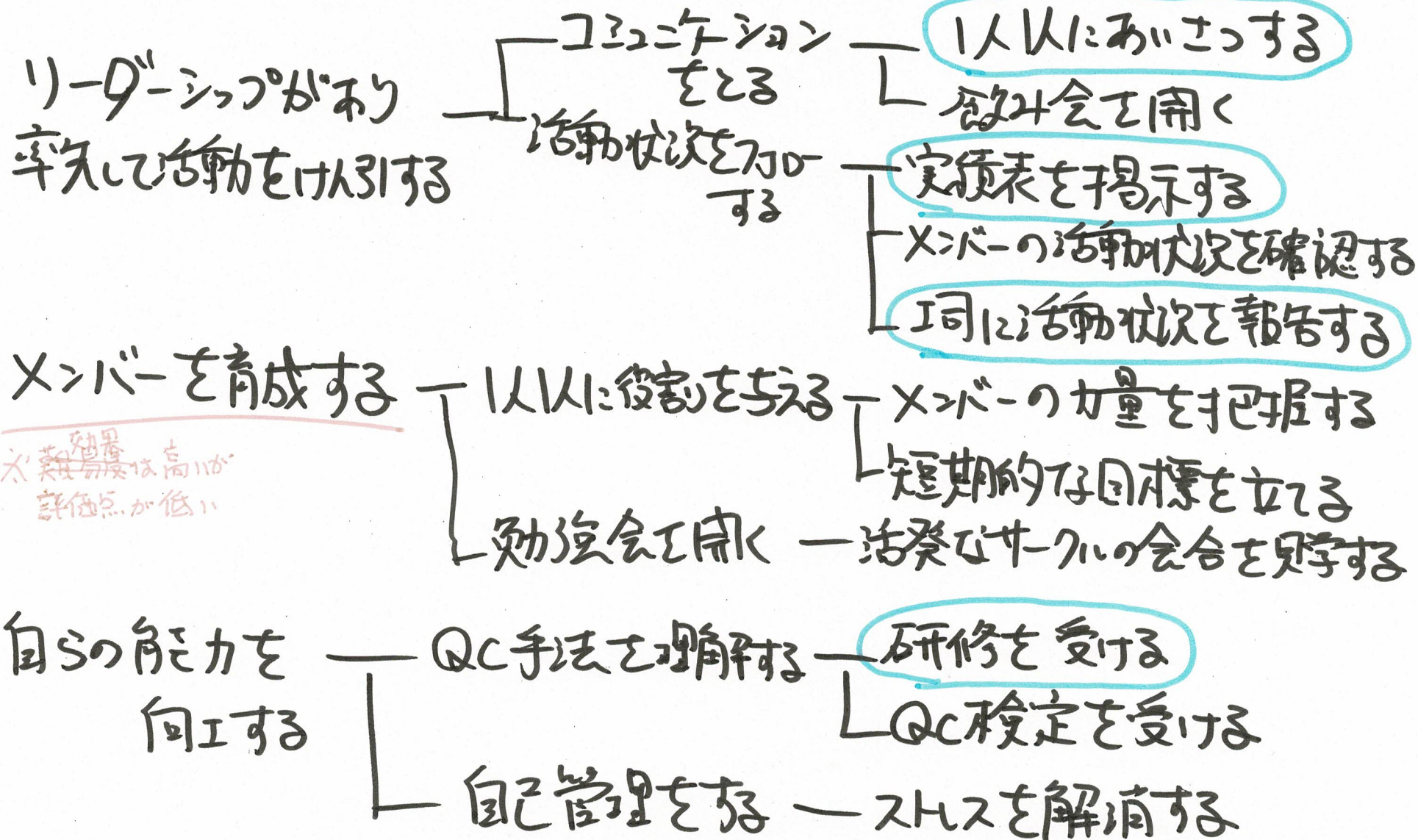
QCサークルリーダーの『やるべき事』

※制約条件：リーダーの実現可能な行動

〔そのための行動〕

〔そのための行動〕

自分たちが思い描く
QCサークルリーダーになるためには



リーダーとしての心得三ヶ条

第一条

一対一とコミュニケーションを取り
風通しの良い職場作りをする

第二条

活動状況を明確化し
上司・メンバーと共有する事で
Q.C活動をけん引する

第三条

自分の能力を高め
メンバーの見本になる

決意表明（メンバー全員が記入）

服部 黎：上司・メンバーと情報共有を行い
(アイシン) 円滑に活動を進める。

大浦 隆雄：積極的に研修等を受け、自己研鑽を
(三菱電気材料) 重ねる。

新美 雅え：自分からコミュニケーションを取り
(日本製鉄㈱) 上司・メンバーとの架け橋となります。

山本 達也：リーダーとして熱意を持ち、活動の進捗に
(デンソーウエーブ) 喜びを感じてもらう

石川 貴登：活動のみならず、^代人間的な面でも
(愛三工業) 活動状況をサークルで共有します。

岩本 守：上司・メンバーの話を良く傾聴し
(デンソー) コミュニケーションを積極的に取ります